

雪上訓練①：谷川岳天神尾根

- ◆日程 2021年12月4日(土)～5日(日)
 ◆メンバー L：SD、SK、TY、MD、WY、KS

今年も例年通り谷川岳で雪上訓練を実施した。今年は雪が多いようで既にスキー場はオープンしている。1回目の雪訓は6名の参加となった。

12月4日(土) 天候：曇りのち雪

ロープウェイからテン場予定地に直行したが先客が4張りもあった。熊穴沢避難小屋まで行って張れなかったら大変なので何とか空きスペースに6張り設営した。

雪上訓練のためスキー場の上の稜線まで行くと既に20名くらいが雪訓をしていた。空いているところで我々もアイゼンを外した歩行訓練、耐風姿勢、滑落停止をする。滑落停止はまず基本姿勢を練習してからヒップソリを使って加速をつけた状態からの停止を繰り返し行った。休憩を挟んでビーコン操作を行う。基本的なビーコンを使った雪崩埋没者の捜索方法の説明をする。その後2～3人のグループに分かれて雪の中に埋まったビバークを捜す訓練を行った。1回目は近くまで行ってもピンポイントで掘り当てするのに時間がかかったが、2回目はコツを掴んだか、かなり時間が短縮された。最後にワカンを着用してテン場までワカンで帰った。夕方から雪が降り始め、風も強く、結局朝までに30～40cmほどの積雪があった。

CT：天神平スキー場9:30 - テン場10:10 - 雪上訓練12:00/14:00 - テン場14:20

12月5日(土) 天候：曇りのち晴れ

昨夜の降雪に加えて今朝もかなり風が吹き荒れていた。天気は回復傾向で風も弱まる予報だったが山頂付近はガスに覆われ明るい兆しが無い。ホワイトアウトになる可能性が高いのでテン場にあった竹を使って即席の赤旗を10本ほど作り予定通り出発する。

所々吹き溜まりでは膝上くらいのラッセルがあり、TYさんとトップを交代しながら進んで行った。他のメンバーにも少しずつ交代でラッセルをしてもらった

天狗の溜まり場辺りまで来ると風もかなり強くなり、ホワイトアウトで真っ白の中、赤旗を刺して帰り道を確保しながら登って行った。ガスの中から道標が現れ避難小屋の屋根も薄っすらと見えてきて一安心する。避難小屋の中でしばらく休憩をしてエネルギー補給をした。頂上まで行けないこともないが展望も全くないので無理せず肩の小屋をバックに写真を撮って早々に下山した(他の登山者に写真を撮ってもらったのだが帰宅後写真が撮れていないことが分かり愕然とした)。

下りて行くと下からドンドン登山者が登ってくる。振り返って山頂を見るたびに雲が取れて終いには無風快晴となった。下山すると天気が回復するという冬山あるあるではあるが、みんな残念がっていた。ただし冬山訓練としてはかなり良い訓練になったと思う。(記：SD)

CT：テン場6:00 - 熊穴沢避難小屋7:30 - 肩の小屋11:00 - テン場11:30 - 天神平スキー場12:40

参加者コメント：MD

入会4年目にして、雪上訓練に初参加した。1年目は装備が無く、2・3年目は子供の受験を理由に不参加。今年は行けない理由が見当たらない。寒がりな歩荷力が無いため参加を悩んだが、きっと後悔するだろうと思い、参加を決意した。1日目の訓練を楽しく終え、初の冬期テント泊にドキドキ。テント内は0度。暖かいシュラフのお陰で寒くはなかったが、降り続く雪と唸るような風の音で、なかなか寝付けなかった。

翌日は山頂アタック。雪が深く積もり、ラッセルを強いられる。訓練としては良い条件だ。天気は回復することなく、肩の小屋にて無念の撤退。そして下山したらいきなりのピーカン(泣) 今回の山行では、装備や食事など雪山生活についても学ぶことが多かった。習うより慣れろだ。準備が遅く、他のメンバーには迷惑をかけてしまったが、色々とおアドバイスをいただき本当に感謝！また雪山に行きたくなった。

